

感作性

参考資料-10

No	CAS No.	物質名	日本産業衛生学会 (気道感作性分類)	ACGIH	EUリス ク警句	感作 性クラ ス	分類根拠
1-027	4098-71-9	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート			R42	1	ヒトで感作性が報告されており(CERIハザードデータ集(2000)、ACGIH(2001))、ALGY学会(2004)で呼吸器感作性物質としてリストアップしていることに基づき、クラス1とした。
1-046	107-15-3	エチレンジアミン	2		R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-066	111-30-8	グルタルアルデヒド	1	SEN	R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-068		クロム及び3価クロム化合物	2			1	日本産業衛生学会気道感作性物質、クロムおよびクロム化合物(Crとして)、当該物質自体ないしその化合物を示すが、感作性に関与するすべての物質が同定されているわけではない。Patty(1999)に「クロムめつき後、作業員の喘息」、「硫酸クロム暴露後の急性喘息」の記述がある。
1-069		6価クロム化合物	2			1	日本産業衛生学会気道感作性物質、クロムおよびクロム化合物(Crとして)、当該物質自体ないしその化合物を示すが、感作性に関与するすべての物質が同定されているわけではない。
1-069	1333-82-0	クロム酸(無水)			R42	1	ヒトへの健康影響の記述、無水クロム酸のフュームの吸入による気管支喘息が報告されている(IRAC(1990))。
1-100		コバルト及びその化合物	1			1	日本産業衛生学会気道感作性物質、コバルトおよびコバルト化合物(Coとして)、当該物質自体ないしその化合物を示すが、感作性に関与するすべての物質が同定されているわけではない。
1-100	7440-48-4	コバルト			R42	1	Patty(1999)に「著しい気管支反応」の記述がある。
1-100	7646-79-9	塩化コバルト(II)			R42	1	Patty(1999)に「即時型喘息様反応」の記述がある。
1-198	100-97-0	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.1.3.7]デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン)			R42	1	DFGOT(1993)の疫学事例報告にて、「喘息様症状」等がみられている。
1-202	11070-44-3	テトラヒドロメチル無水フタル酸	1		R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-231	7440-02-0	ニッケル	2			1	日本産業衛生学会気道感作性物質、ニッケル、当該物質自体ないしその化合物を示すが、感作性に関与するすべての物質が同定されているわけではない。Patty(1999)に「ニッケル作業員の喘息」の記述がある。
1-232		ニッケル化合物	2			1	日本産業衛生学会気道感作性物質、ニッケル、当該物質自体ないしその化合物を示すが、感作性に関与するすべての物質が同定されているわけではない。
1-232	7786-81-4	硫酸ニッケル(II)			R42	1	Patty(1999)に「フュームが気管支反応を誘発する」の記述がある。
1-258	110-85-0	ピペラジン	2		R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-293	822-06-0	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	1		R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質

感作性

参考資料-10

No	CAS No.	物質名	日本産業衛生学会 (気道感作性分類)	ACGIH	EUリス ク警句	感作 性クラ ス	分類根拠
1-294		ベリリウム及びその化合物	1			1	日本産業衛生学会気道感作性物質、ベリリウムおよびベリリウム化合物(Beとして)、感作性に関与するすべての物質が同定されているわけではない。ベリリウム化合物で、気管の症状として鼻咽頭炎等がみられたとの報告がある(IARC(1993))
1-300	552-30-7	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	1		R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-310	50-00-0	ホルムアルデヒド	2	SEN		1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-312	85-44-9	無水フタル酸	1	SEN	R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-313	108-31-6	無水マレイン酸	2	SEN	R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-320	80-62-6	メタクリル酸メチル	2	SEN		1	日本産業衛生学会気道感作性物質
1-338	26471-62-5	メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート(別名m-トリレンジイソシアネート)	1	SEN	R42	1	トルエンジイソシアネート類は、日本産業衛生学会気道感作性物質
2-078	101-68-8	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	1		R42	1	日本産業衛生学会気道感作性物質
172	3173-72-6	一・五・ナフタレンジイソシアネート			R42	1	IUCLID(2000)に気管支誘発試験の結果、NDIによって喘息がみられたとの記述がある。
228	7727-54-0	ペルオキシ二硫酸アンモニウム			R42	1	NICNAS(2001)、SIDS(2005)にヒトで吸入暴露により喘息症状が誘発されたとの症例報告があり、呼吸器感作性陽性と結論づけている。
228	7727-21-1	ペルオキシ二硫酸カリウム			R42	1	NICNAS(2001)、SIDS(2005)にヒトで吸入暴露により喘息症状が誘発されたとの症例報告があり、呼吸器感作性陽性と結論づけている。